

平成30年度第1回 関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会 議 事 概 要

- 1 開催日時：平成30年6月28日（木）～7月17日（火）
- 2 開催場所：各委員に個別に資料提示・説明
- 3 委員
委員長 池田耕一 立命館大学大学院 経営管理研究科 客員教授
委員 赤松幸夫 赤松法律事務所 弁護士
" 大野正英 麗澤大学 経済学部 教授
" 岡本直久 筑波大学 システム情報系 教授
" 山田努 筑波大学大学院 ビジネスサイエンス系 教授
(委員は五十音順)
- 4 議 事
平成29年度関東地方整備局コンプライアンス報告書（案）について

5 概 要

事務局が各委員に、平成29年度における関東地方整備局のコンプライアンスに関する取り組みについて、報告書案を提示して説明し、記載内容等について意見を伺った。

委員からは、報告書の内容について特に異論はなく、「コンプライアンス活動に十分努力されている。継続してやっていくことが大事である。」と評価された。

【主な意見】

- ① コンプライアンス活動に十分努力されていて、評価できる内容となっている。アンケートでも自由な意見が出ていることはいいことである。
- ② コンプライアンス活動は、一回やったからこれで良いとはならない。マンネリ化防止のため、常に新しい事例や題材等を使い継続していくことが大事である。一方、スクラップ&ビルトの考え方を取り入れ、内容を減らす勇気も必要と思われる。
- ③ ハラスメントの対応は難しい。風通しのよい職場づくりが重要だと思う。
- ④ コンプライアンス週間における事務所横断的ミーティングはよい取組である。継続してもらいたい。
- ⑤ コンプライアンス指導者の継続性を確保するため、中長期的に中堅層の育成を図ることも検討されたい。